

☒ インフレ時における資産運用



何故、資産運用を考えないといけないのでしょうか？

世界的な地政学的リスクの深刻化や円安進行により、国内でも物価の上昇基調が強まっています。インフレ時（継続的な物価上昇）においては、お金を現金のまま、あるいはインフレ率を下回る金利で預金しても、買うことができる同じ価値の品物やサービスは毎年減少していくことになります。

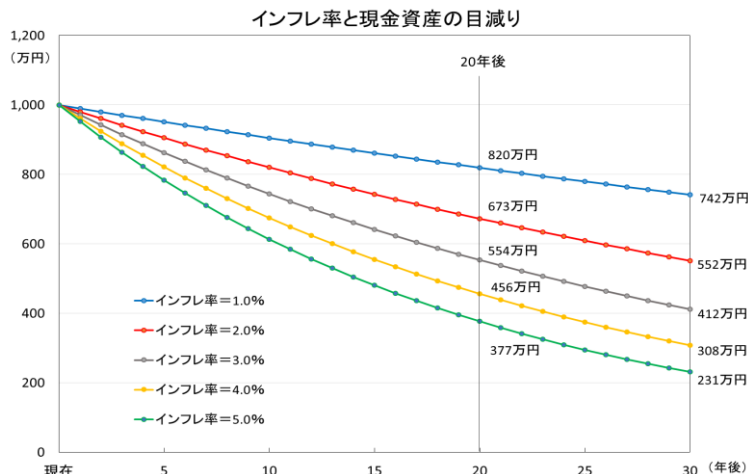
⇒ インフレ率を上回る運用をしていかなければお金の価値は実質的に目減りしていくことになります！



物価と資産価値の関係を考える

日本銀行は年率2%のインフレ率（物価上昇率）を目標とした金融政策を実施していますが、それに近いインフレ率が現在進行中です。

インフレ率が年率2%ということは、「100円のものが1年後には102円になっている」ということで、同じ金額で買えるものが1年後には2%減少しているということでもあります。逆に、1年後の1,000万円は現在の約980万円と同じ価値ということもでき、恒常的に年率2%のインフレ率が続くとすれば、下のグラフのように資産価値はどんどん目減りしていくことになります。



インフレ率が年率2%ならば、運用も年率2%以上でなければ、資産は実質的に目減りしていくことになります。

資産を運用することで、将来の実質的な支払い価値を減らさないようにすることも大切な資産運用の視点であるといえます。

● インフレ

インフレとは、モノやサービスの値段が継続的に上昇していくことを言います。あるモノが一定の価格で購入できたのに、1年後には値上がりして同じ値段で購入できなくなっていることであり、お金の実質的な価値が下落していくことでもあります。



【免責事項】

○本資料は、公表された資料に基づき作成されたものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。
 ○本資料は、お客様への情報提供を目的としたものであり、投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、本資料をお客様ご自身のためにのみ、お客様限りでご利用ください。なお、当社の事前の承諾を得ることなく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。
 ○本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、当社は、理由の如何を問わず責任を負いません。


八十二証券

商号 等：八十二証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第21号
 加入協会：日本証券業協会、
 一般社団法人 資産運用業協会

広告審査済